

かがやき

令和2年9月18日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 6

後期、長いマラソン。完走をめざして。

夏休みが終わり、9月後半に入りました。少しずつ朝晩の涼しさも出てきましたが、まだまだ暑い日が続いています。ニュースによれば今年の8月は観測史上一番暑い8月だったそうです。気候変動やそれに伴う温暖化。四季の季節感のズレ。これまでにない新しいことが増えてきているようにも感じます。前期も佳境に入り後期のスタートも近づいてきました。8月の後半から学校がスタートしていることを考えると、もう約一月も経っているんだなあという思いでもあります。そんな中、子どもたちも日々元気いっぱい学校生活を送っています。今年度の後期は長丁場です。健康に楽しく無理のないようにこの1年の完走を目指していければと思います。よろしくお願いします。

「適切」に伝えあうということ

前期の後半がスタートし、個別、グループ学習も軌道にのってきました。各指導の中でも大切にしていることは「適切に伝える」ということです。個別指導での生活の振り返りでは、子どもの言葉を教師が補いながら日々の生活のことや気持ちの変化について表出させ、整理することがあります。その中で感じるのは、子どもたちの解釈には本当にいろいろなものがあるということです。その解釈のちがいや気持ちが伝わるかどうかでその場の状況は様々に変わってきます。今日はグループ指導中のエピソードを紹介します。

先日、グループ指導の最中にある二人の児童が陰悪なムードになってしまうことがありました。きっかけは些細なことだったようですが、最初は二人とも自分の敵意や不快感情を表情や態度でぶつけ合うだけの状況でした。自分が相手の何に対してどのように怒っているかお互いにわからない感じだったので、授業後に二人で個別に時間をとり話し合いを行いました。その中でわかったことは、A君はB君の「冗談口調」に怒っていたこと。B君は自分の意見を発表するときにA君が話を聞いてくれない態度をとったことに怒っていたことでした。その後、お互いの気持ち(自分の感覚)を言葉で伝え合い、次から気をつけようという結論にたどり着くことができました。ここで大事だったのは、お互いの言葉を補いながら適切に伝える場を作るということ。伝えあうことでした。場や相手に応じて適切に「伝える」ことが苦手な子もいる中で、自分が相手の言葉や態度をどのように解釈したのか。ちょっとした思い込みですれちがってしまうことは本当に多くあります。今回の出来事から、この場面が互いに伝えあうことの大切さや、話し合いで「解決」できることがあるというスキルにつながっていければと思います。

お知らせ

- * 前期個別指導計画・・・今年度は前期後期制の指導になっているので、9月末に前期のあゆみと一緒にお渡します。(緑色のファイル)内容をご確認し、右下の記入欄に押印していただきあゆみと一緒にお戻しい。
- * 後期の個別指導計画案・・・(通常の封筒)をお渡します。内容確認後、左下の保護者確認欄に☑を入れていただき学級までお戻しい。指導内容等に不明な点、確認したい点などがありましたら学級までご相談ください。
- * 学級公開について・・・今年度の学級公開は感染症予防のため中止となりました。
- * 後期の定期面談(1～5年生)については年明けに実施する予定です。詳細は後日お伝えします。
- * かがやき学級の連絡帳貸し出しファイル(緑色)がお手元にありましたら、学級にお戻しい。